

指定管理者モニタリング結果報告書（令和 6 年度分）

- ・ 施設名 : 塩飽勤番所跡
- ・ 施設所管部課 : 教育部文化財保存活用課
- ・ 指定管理者 : 史跡塩飽勤番所顕彰保存会

区 分		内 容
実施時期		定期モニタリング：令和 7 年 2 月 28 日（金）午前 11 時 30 分 随時モニタリング：毎月の来館者数報告書受け取り時、聞き取り調査を実施
実施方法		定期モニタリング：指定管理者業務状況聴取表により調査を実施 随時モニタリング：毎月の来館者数報告書受け取り時、聞き取り調査を実施
実施結果	① 施設の状況	展示ケース内の電球が切れていたため修繕を行った。また、襖や畳が劣化しており修繕が必要である。
	② 施設の利用状況	年間 3,444 人（前年度 1,831 人）※各年度 1 月末現在 前年度より大幅に増加している。
	③ 施設利用者の意向把握と対応	現在アンケートは実施していないが、利用者とコミュニケーションをとり、要望等を聞いている。
	④ 管理体制	3 名の管理人で交替勤務としている。土日祝は 2 名、平日は 1～2 名での管理。会長は必要に応じて出勤している。
	⑤ 管理経費	節電に努め、無駄な経費が出ないように努めている。 事業計画書の範囲内の経費で管理ができています。
	⑥ 緊急時の対応について	緊急時は管理人から会長へ速やかに連絡をとり、会長から教育委員会、消防団等へ速やかに連絡することになっている。休館日についても、異常を発見すれば会長へ連絡してもらえるよう、隣家に依頼している。
	⑦その他 （指定管理者の業務遂行能力等）	指定管理者の財務状況に大きな問題はなく、指定管理業務の継続的な実施に支障は見られない。
	⑦ 改善指示事項	引き続き、利用者を増やすための方策や文化財の保存と活用を考えること。
実施結果に対する所管課の意見		施設の中や周辺の清掃、来場者への対応も丁寧で管理状況は良好である。コロナの影響で落ち込んでいた来場者数も回復傾向にあるため、今後も引き続き維持向上に努めていただきたい。
今後の施設管理に反映(改善)する事項		周囲の土塀漆喰壁に、き裂や傷みが生じているため、大規模な修繕が必要である。また、令和 7 年度開催予定の瀬戸内国際芸術祭 2025 に向けて、塩飽勤番所顕彰保存会と協力して展示のリニューアルや施設の修繕を行い、より一層の集客に努めたい。